

(4) 次年度(平成20年度) の活動

(異常気象分析検討会)
(異常気象分析作業部会)

気象庁 地球環境・海洋部
気候情報課

検討会・作業部会の主な運営事項案

(桃色: 検討会のみ対象)

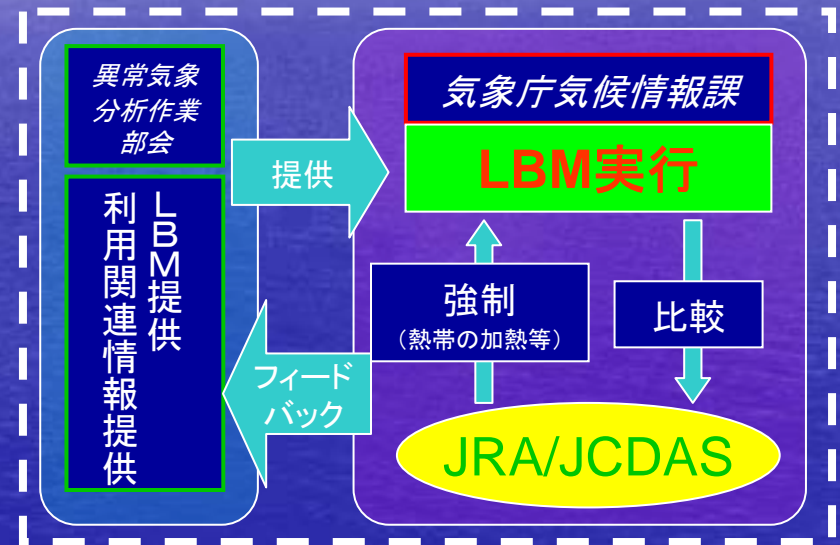
- 異常気象分析検討会の開催(定例・臨時)
- 天候・循環場に関する定期的な情報提供
 - メールマガジンの刊行(半旬ごと)
 - 気候系診断会議のオンライン配信(月ごと)
- 委員の研究成果の活用・分析ツールの高度化等
- 線形傾圧モデル(LBM)の利用体制の整備
- オンラインでの会合(練習)実施(夏を対象)

研究成果の活用・分析ツールの高度化等

- 異常気象発生事後において、気象研委員とモデル実験・解析等の協力関係を維持
- 委員による研究成果(知見、分析ツール等)について、気象庁での利用を検討
- 分析ツールに関して委員からの要望を反映
 - 随時の修正、あるいは新規機能追加等を検討(例)
 - GPCP・CMAP等降水量データの追加
 - 海洋データの充実(インド洋の表層水温等)
 - 平成20年度より、新たに太平洋西部・インド洋の熱帯海域も対象とした海洋変動監視予測情報の提供業務を開始。
 - 使い勝手の改善、マニュアル・解説の充実

LBM利用体制の整備

- JRA/JCDASの「強制」による実行
- 準ルーチン的な運用・結果の検証
- 過去の事例への適応調査
 - 渡部部会長にご助言をいただく



- 異常気象の要因分析への適用を目指す

オンラインでの会合（練習）実施

- 開催時期：夏～初秋
- 分析対象：夏の天候
 - Web会議システムを用いて行う
 - 検討事項は大気大循環の異常
 - 可能な範囲でご参加いただく
 - 異常気象発現時には「臨時」検討会へ移行（オンラインまたは参集）

